

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	住環境小委員会	主 査 名：高見沢実 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：西村幸夫 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	日本の市街地・住環境のビジョンに関する総合的研究を、国際的視点や実践的視点も踏まえて行う 2005 年度：市街地・住環境の空間性能についての分析 2006 年度：市街地・住環境にたいする居住者評価の把握 2007 年度：あるべき市街地・住環境の経済性・実現可能性・実現方法 2008 年度：市街地・住環境の自律的管理運営、システムの開発。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 高見沢実(横浜国立大学)=主査 斎藤広子(明海大学) 平山洋介(神戸大学) 有賀 隆(名古屋大学) 清水 肇(琉球大学) 間野 博(広島女子大) 児玉善郎(日本福祉大学) 木瀬晴也(都市再生機構) 小場瀬令二(筑波大学) 窪田亜矢(工学院大学) 真野洋介(東京工業大学)=幹事 坂井文(横浜国立大学) 野澤千絵(東京大学)=幹事 江川直樹(関西大学) 岡絵里子(大阪大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	郊外居住地研究 WG (高度成長期に形成された郊外居住地の現在の変容状況を、とりまとめることを作業課題とするものである)	
2006 年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/toshi/s0/">http://news-sv.aij.or.jp/toshi/s0/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物(シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 「小さなプロジェクト外の積み重ねで災害に備える」9 月 9 日開催 参加者数 90 名 (資料名) 同上 2. 「日中居住福祉シンポジウム」11 月 1 日開催(共催) 参加者数 名 (資料名) 同上 3. 「細街路と住環境をどう整備するか」11 月 18 日開催 参加者数 60 名 (資料名) 同上
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 日本の住環境をテーマとした重要なフォーラム・ワークショップを開催することができた 2. 上記成果や小委員会における議論を通して、2007 年度から 2 ヶ年の活動の方向性を決めることができた。
委員会活動の問題点・課題	1. 当初の段階で仮に想定したテーマからのズレを生じているが、組織化されてからのテーマの議論を重視したためやむを得ないと判断される。 2. なかなか全員が集まることが困難である。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。